

カブトムシ・クワガタ

さいごまで大切に飼おう!

外国産の

カブトムシやクワガタを
野外に放さないでね。

1

食べ物や
すみかを
うばいます

2

雑種をつくり
本来の遺伝子が
失われます

3

病気を
広めます

K. GOKA

K. GOKA

外国産のカブトムシやクワガタ。

強そうだしカッコいいけど、日本の自然の中に入り込むと、
いろいろな問題が起こってしまうんだ。

外国産カブトムシ・クワガタを飼育される皆さまへ

外国産のカブトムシやクワガタを日本の野外に放すと、
次のような3つの問題を引き起こすおそれがあります。

1

食べ物やすみかをうばいます。

体が大きく力も強い外国産のカブトムシやクワガタは、日本にもともといるカブトムシやクワガタの食べ物やすみかをうばってしまいます。

2

本来の遺伝子が失われます。

外国産のカブトムシやクワガタと日本産との間に雑種が生まれる可能性があります。これは、自然界において何百万年もの長い進化の過程でできあがった地域の貴重な遺伝子の固有性が失われ、人間の手で進化のプロセスをゆがめてしまうこととなります。

3

病気を広めます。

外国産のカブトムシやクワガタには外国産のダニが寄生していることがあります。日本のカブトムシやクワガタは、外国産のダニや病原体に対する抵抗力がないため、病気になって死んでしまうこともあります。

その結果

日本にもともとすんでいたカブトムシやクワガタが
絶滅してしまうかもしれません！

Q

外国産のものは
日本で冬を越せないから心配ないのでは？

A

日本の気候に適應し、数年間生きるものがあると
いわれています。また、冬を越せなくても上に挙げ
た問題は生じる可能性があります。

Q

飼えなくなったら、殺すより野外に放した方が、
生きものを大切にすることになるのでは？

A

野外に放すと上に挙げた3つの問題を引き起こし
てしまい、日本のカブトムシ・クワガタに悪影響
を与えます。さいごまで飼うことが、生きものを
大切にすることです。

日本産のカブトムシ・クワガタであっても、 野外に放さないで。

日本のカブトムシやクワガタであっても、本来生息していなかった地域に持ち込まれると、その地域の生き物に悪影響を及ぼしてしまうおそれがあります。

生きものを飼うことは、おもしろくて勉強になることがたくさんあって、すばらしい体験です。

生きものの形や動き、生活の仕方をよく観察してみましょう！

そして、いったん生きものを飼い始めたら、

**さいごまで責任をもって飼い続けることが、
命を大切にすることです。**

